



Title	連環画に描かれた三反五反運動：あなたはこうして騙される
Author(s)	梅村, 卓
Citation	連環画研究, 4, 18-29
Issue Date	2015-02-01
DOI	https://doi.org/10.14943/2115.98410
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/98410
Type	departmental bulletin paper
File Information	renkanga_4_18-29.pdf



連環画に描かれた三反五反運動 ——あなたはこうして騙される

梅村 卓

朝鮮戦争下の1951年秋より、中華人民共和国では新たな政治運動が展開された。腐敗を取締り、綱紀を引き締めることを目的とした三反五反運動である。この運動はまず東北ではじまり、それが全国的に広まる運動となった。三反とは「汚職」、「浪費」、「官僚主義」に反対することであり、五反とは「贈賄」、「脱税」、「国家資材の窃盗」、「手抜き・材料のごまかし」、「経済情報の盗み取り」を糾弾する運動である。国家機関の工作人員の腐敗を対象としてまず三反の摘発が行われた後、その原因が資本主義者の攻撃によるものとされ、民間企業に対して矛先が向けられたのが五反であった¹。今野純によれば、実際に工場などで批判の対象とされたのは、「資産階級の享楽思想」、つまり「ダンスホールに遊びに行く」こと、「妓女と遊ぶ」ことであり、「三反」運動は個人の生活スタイルの矯正までも視野に入れていたという²。本稿で検討する連環画のなかでも、これらの享乐的スタイルが度々批判されている。

東北でまずこの三反運動が始まったのは決して偶然ではなかった。かつて満洲国の統治のなかで工業化された東北は、1950年代初期においては経済の先進地域であった。多くの工場があり民間企業もある一方で、東北の住民たちは、好むと好まざるとにかかわらず、日本や満洲国の統治に何らかの関わりを持っていた。彼らの多くは対敵協力者と見なされかねない政治的背景を有していたのである。それゆえ「資本主義的腐敗」が摘発され、共産党統治の敵として標的になる人々が多かったのである。

本稿では、この三反五反運動がはじまった東北で共産党が発行していた『東北画報』を用い、連環画に描かれた「悪辣な資本主義者」のイメージを紹介してみたい。

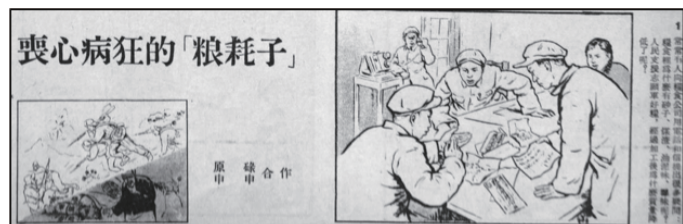
1 『東北画報』の性格と連環画の利用

『東北画報』は、中国共産党が東北において1945年11月から1954年まで発行したビジュアル雑誌である。共産党が抗日戦争時期に発行した画報としては『晋察冀画報』がよく知られているが、同雑誌より枝分かれした冀熱遼画報社が1945年11月

に東北画報社と改名され、同年 12 月に創刊したものが『東北画報』である。以上の経緯より、『東北画報』は抗日根拠地で発行された中国共産党のビジュアル雑誌の系譜を継承するものであったことが分かる。

中華人民共和国の建国後、中国では多くの画報が出版されているが、『東北画報』は建国以前より継続出版していた最古の画報の一つであった。中華人民共和国の代表的な画報としては『人民画報』があるが、『東北画報』などの地方の画報とはその性格が明らかに異なっている。『人民画報』は 1950 年 7 月に北京で正式に創刊された全国的な画報であり、毛沢東が題詞を書いたことから分かる通り、事実上国家を代表する画報であった。『人民画報』に掲載される記事や写真は常に外国人に見られることを意識しており、『人民画報』には中国政府が見せたい「美しい中国」が描かれている。

これは大衆運動が吹き荒れた時期においても同様である。1952 年 3 月から 6 月は本稿が対象とする三反五反運動が展開された時期であるが、全国各地の運動の様子を紹介する記事はあるものの、運動の生々しい様子は十分に報道されているとはいえない。むしろ『東北画報』のような地方で発行された画報において、腐敗した官僚や商人の摘発や闘争大会など地域社会に密着した生々しい運動の様子が報道されている。これは



『東北画報』が外国人の目を想定しておらず、地方幹部の活動を補助する目的で出版されていたからであろう。

大衆運動の報道では、連環画も一種の報道の道具として利用された。そもそも画報は画像の入った大衆向けのメディアであるが、記事には文字も多く内容を理解するのはそれほど易しいことではない。したがって連環画は画報の報道内容を更に分かりやすく伝える手段として用いられたのである。本頁の 2 つの画像 (右上図、右下図) は、

1952年4月に発行された『東北画報』第95期の記事「喪心病狂的『糧耗子』」と同名の連環画である。「喪心病狂」とは「狂気じみた」を意味し、「糧耗子」は「食糧の横流しで私腹を肥やす者」を指している。朝鮮戦争下の東北において、前線に送るべき糧食の横流しを批判する内容である。『東北画報』では、まず写真を付して悪徳商人の摘発の様子を示し、その具体的な犯罪の内容を連環画で詳しく説明している。連環画が記事を補足する形で用いられているのである。

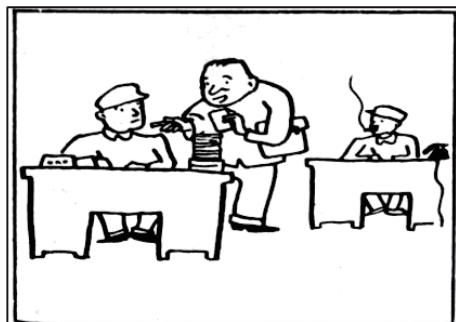
さて、以下では『東北画報』第95期に掲載された資本主義者の典型的な手口を解説した連環画を用い、作者になった気になって紹介してみよう。

2 あなたはこうして騙される——資本主義者の手口³

悪辣な資本主義者は、あの手この手で革命戦士を腐敗させ、自身の不正に利用しようと近づいてくる。このような資本主義者の攻撃を「糖衣砲弾（甘い罠）」と言うが、その典型的な手口には以下のようなものがある。

①探りを入れる攻撃。

悪徳商人らは、国家機関にコネを作るために上等な煙草を持ち、「同志、お疲れ様です。一本どうですか？ 上等なもので絶品ですよ！」とあなたに贈ろうとする（右上図）。旧中国での賄賂といえば、やはり煙草だ。また「あなたの靴は酷いですね、格好わるいでしょう。革靴を持っているんですが、私には小さいんですよ。試してみませんか？」と巧妙に持ちかけてくることもある（右下図）。清貧な革命戦士には高価な靴を買う金などないのである。内戦期や抗美援朝闘争では、後方支援として軍靴など靴の生産が重視されており、靴は不足しがちだったようだ。



1 奸商和他們的代理人，到國家機關打交道總要揣上一些上等香煙。「同志，辛苦了，我得慰勞慰勞，來一支，古磁牌的，味道還不壞！」就這樣送人就送。



2 「老弟你這鞋太破了，多寒酸。我這有一雙皮鞋，穿著小，你試試行不行？」

②相手の好むところに合わせ、虚を突く。

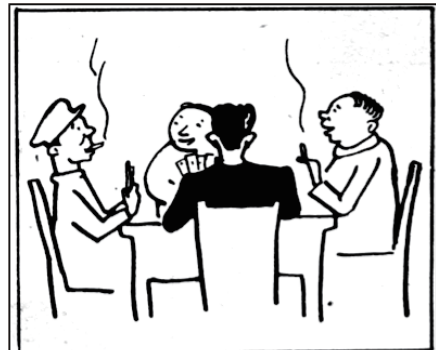
「あなたはポーカーが好きですか？」そんなことを言いつつ、悪徳商人たちは折を見て私人として遊びに来る。そしてわざと負け、知らず知らずのうちに賄賂をあなたに贈るのである（右上図）。あるいは、あなたがダンスが好きだとすれば、悪徳商人はあなたをダンスホールに連れて行こうとする。たとえ断ったとしても、彼は「行きましょう！ ダンスは一つではありません。あなた方大衆仕事を担当している人は、広く世間を見るべきです。見てみましょう、大丈夫ですよ」と言う。なかなかうまいことを言うものである。本当は行きたい人間の罪悪感に逃げ道を与えているわけだ。

③人情。

悪徳商人はあらゆる手をつくしてあなたの父母、配偶者、兄弟姉妹、いどこまでを聞き出して、親戚に取り入り贈り物を届ける（右中図）。まさに将を射んと欲すれば先ず馬を射よ、というところだろうか。自分の子供にあなたを拝ませて父子の誓いをさせ、あなたに人情だけを思い、階級や国家、人民を忘れさせようとさせる。

④色仕掛け。

男に効くのはいつの時代もやはり女性のように。悪徳商人は女性にあなたの食事の相手をさせ、無理に酒を飲ませて酔わせる。酔っ払ったあなたに無茶な契約にサインさせ、イケナイ場所に連れて行くのである（右下図）。日本でもどこかで聞いたことのある話である。イケナイ場所というのがどこかは、読者のご想像に任せる



5 「你愛玩撲克嗎？」奸商們就會找機會拉幾個人來玩。故意輸錢，無形中賄賂送到你的手裡。



7 奸商會千方百計地打聽出你的父母、愛人、兄弟姐妹以至表親，也要來攀「親戚」送禮上門。



11 他用女人陪你吃飯，用酒把你灌醉。當你醉了以後，他可以要你在不合理的合同上簽字，可以把你拖到不乾不淨的地方去。

と言いたいところだが、この話には続きがある。あなたはついに重大な過ちを犯してしまう。性病にかかってしまったのだ！ あなたは政府の病院に行くのをためらい、治す金もない。そんな時悪徳商人がやって来て「心配要りませんよ、治療は私が請け負いましょう。費用は私がもちます」と甘い言葉を囁く（右上図）。あまりに恥ずかしいことなので、以後は公になるのを恐れ、悪徳商人の言いなりになるに違いないのである。



12 你終於失足了，染上了花柳病。你不敢到本機關的醫務所去看，又沒有錢治，這時候他又來了：『不用愁，我保險把病給你治好，花多少錢算我的。』把你進一步拴在他的尾巴上了。

しかし世の中そんなに甘くない。悪徳商人たちがいい顔をしているのは利用価値のある時だけだ。あなたが機関から除名されれば、もう使い道はない。悪徳商人はすぐにでも与えていた金を返し、賄賂を全て返すように要求してくる。さもなくばあなたを告発するのみだ。同志たち、用心しよう！ 資本主義者はこのように革命幹部に悪辣な攻撃をしかけてくるのである。

3 実際の被害者

さて、『東北画報』の連環画では、実際の事件を元にして、具体的な資本主義者の攻撃の様子や、その摘発の例が掲載されている。まず紹介するのは、毅然として資本主義者の誘いを断り、不正を暴いた模範的幹部の例である。

①汚職犯や悪徳商人と断固として戦った青年団員——董万里⁴

青年団員の董万里は、1950年4月に長春東北商業専門学校に移動となり、管理科で修築・購入活動を担当した。そこで董は副課長の蘇正家が商人と結託していることを発見し、彼らが不正を犯しているのではないかと注意するようになった（右下図）。蘇正家のやり方は明らかにおかしなものであり、購買リストを見もせずそのまま商人に渡し、商人が送った購入品を一目も見ずに受け取っていたのである。



1 董万里（青年団員）於一九五〇年四月到長春東北商業專門學校，在管理科擔任修築採購工作，他發現副課長蘇正家和私商勾搭，就開始注意。

蘇正家と鉄工所を経営する悪徳商人の李沛烈は、一緒に映画を見るなど常につるんでいた。彼らは董万里も引き入れようとし、ある日董万里を小料理屋の中へ無理に連れて行こうとしたが、董は「自分は団員だ。悪い奴らとグルになるものか」と考え、すぐに食堂を出た(右上図)。董万里は学校に帰ると、報告書を書き所長と秘書に提出したが、彼らは官僚主義的で盲目的に蘇正家を信用し調査しなかった。おそらく彼らも賄賂を受け取っていたに違いない！



3 蘇正家和奸商李沛烈經常在一起看電影、下棋等。他們想把董萬里也拉下水。有一天，他們把董萬里強行帶到小館，董萬里想：「我是一個團員，怎麼能與分子同流合污呢？」他馬上離開飯館。

蘇正家はそれを知ると董万里を威嚇して言った。「お前、なに報告してやがるんだ！私が科長なのは貿易部が任命したもので、中央人民政府の批准を経ているんだ。お前なんぞに辞めさせることができるものか」(右中図)。蘇正家は実際にいろんな方法で董万里に嫌がらせをした。董万里の仕事を管理科から総務課に替えたり、給料の評価の際に董万里の給料を最低にしたりした。これは汚い！



5 蘇正家威嚇董萬里說：「你爲什麼不報告？我爲什麼要受你的威脅？你爲什麼不報告？我爲什麼要受你的威脅？」董萬里說：「我是一個團員，怎麼能與分子同流合污呢？」

しかし董万里がちつともへこたれないので、蘇正家と悪徳商人は強引なやり方を改め、柔軟なやり方へと変えた。ある時李沛烈は董が破れた靴を履いているのを見て、新しい靴を差し出した。しかし董万里は頑として拒絶した(右下図)。資本主義者の手口で紹介した例の靴がここで登場する。



10 蘇正家和奸商見硬拒不行，便改用軟招。一次董萬里到同興鐵工廠取貨，奸商李沛烈發現董萬里穿著破鞋子，就給他拿了一雙新鞋子，但董萬里堅決拒絕了。

ここで女性の服装に注目してみよう。この女性が着ているのは「旗袍」である。よく知られているように、「旗袍」はチャイナドレスとも呼ばれ、もともとは東北を原住地とする満洲人の民族衣装である。満洲人が中国を征服して成立した清朝において、女性の服装として一般化したものである。李沛烈を

みてみると、彼は「長袍」を着ている。「長袍」はやはり満洲人男性の民族衣装である。この連環画と後で紹介する孫建国の連環画では、いずれも悪徳商人とその手先の女性のほとんどが「長袍」と「旗袍」を着ていることに注目されたい。おそらくは共産党にとっての改造すべき悪であるという一点において、封建的伝統は資本主義的腐敗と同一に扱われ、悪人＝封建的伝統にそまった腐敗分子、という構図になったと考えられる。そして東北において封建的伝統を象徴するものこそ、「長袍」と「旗袍」であった。つまり「長袍」と「旗袍」には、否定的なイメージが付与されているのである。

さて、その後も悪徳商人たちは董万里の家族が錦州から来ているのを知ると、甘い言葉で好意を示し金や物で誘惑したが、董万里は厳しい言葉で拒絶し、さらに警告を加えたのである。なんという硬骨漢か。こんな人物が本当にいたのか気になるほどである。

そしてついに反汚職、反浪費、反官僚主義の三反五反運動が始まった。董万里は「これが切っ掛けとなるに違いない」と考えた。中共長春市委員会が検査組を派遣すると、董万里はこれまで溜め込んでいた話を市委員会の同志に話した。同志達は「君は続けて戦いなさい。組織は必ず君を支持する」と励ましたのであった。董万里は「俺が悪の証拠をつかんでやる！」とでも思ったのか、疲れや飢えを忘れて、ひたすらに街で悪徳商人の行動を調査した（右上図）。まるでスパイ活動だが、このモチベーションがいったいどこから来るのか謎である。悪事を働く二人の足元には、長くたなびく影が描かれている。しばしば指摘されるように、連環画において黒い影は悪人を示すコードである。

そしてついに勝利の瞬間がやってくる。蘇正家と李沛烈は汚職犯として逮捕されたのである（右下図）。青年団や長春市委員会は祝勝大会を開催し、全市の青年に董万里の断固として闘争する精神を学ぶよう呼びかけたのである。



②革命幹部孫建国の場合⁵

しかし世の中董万里のような立派な人物ばかりではない。もしそうなら三反五反運動など初めから必要ではないのである。少なくとも共産党の主観としては、資本主義者に籠絡されて利用されてしまった幹部もまた多く存在する。そのような例として挙げられているのが以下で紹介する孫建国である。

悪徳商人の王齡は、梅河口で休養している孫建国が 1938 年に革命に参加した老幹部であり、かつて団の参謀長をしていたことを聞いた。「もし彼を引き入れることが出来れば、金儲けの良い機会になる。どんな方法を使っても孫建国に近づこう」と良からぬことを考えていた。王齡は「あなたは傷を負って、具合が良くない。上は休養費をくれたが使いきったらどうするのですか？商売をするに越したことはないですよ」と言う。そして孫建国は王と長春に大衆油房を開くことにしたのである（右上図）。大衆油房とは、東北の名産である大豆油を作る私営企業であらう。

ただ孫もやすやすと商人たちに利用されたわけではなかった。悪徳商人は観劇や女遊びなどに誘ったが、孫建国はこれを断ったのである。

悪徳商人達は孫建国を籠絡できないのを見て、作戦会議を開いた（右中図）。いかにも腐敗した悪そうな奴らが集まっている図である。悪徳商人たちの背後には黒い人型の影が描かれている。

彼らは相談の末にやり方を変えることにした。周鴻恩は孫建国に会うと「あなたは苦労したし、質素だし、真に大衆の模範だ！革命は勝利したんだし、幸福を謳歌せずに死ぬなんて、なんて甲斐のないことだろう！」（右下図）と言ったのである。これには孫建国も心を動かされた。



「周鴻恩のいうことはもつともだ。ちょっと話しにのつたところで何の問題があるのか?」。孫さん、そんなことを考えてはいけない!

周鴻恩など悪徳商人達は、孫建国を食事や酒、遊びに誘い、孫がもはや拒絶しないのを見て、女性が接待する飲み屋に連れて行った。また周鴻恩は郭玉蘭という芸妓を紹介し、

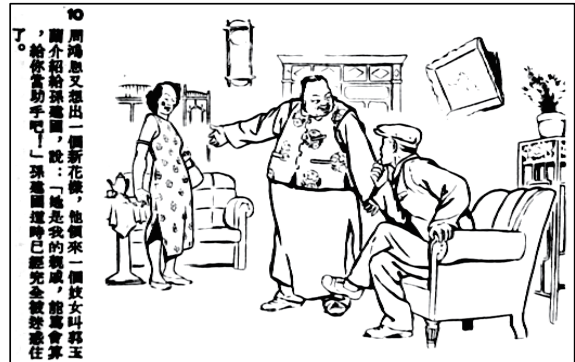
「彼女は私の親戚だ。字も書けるし、計算も出来る。君の助手にしよう!」と薦めた。孫建国はこの時すでに完全に惑わされていた(右上図)。この郭玉蘭は、実は周が金で雇ったもので、孫建国を籠絡する道具として使われたのである。この女性も旗袍を着ていることが注目される。しかしこの芸妓はどう見ても美人ではない。孫さんも革命ばかりやっていて、見る目がなかったのだろうか。

悪徳商人は果たして孫建国に公然と闇取引をするよう要求した。「君は老幹部で、榮譽軍人だから、政府に見つかっても大丈夫だ!」。孫の心は病んでいて、ただ頷いて答えるのみだった(右下図)。悪い奴らが孫の周りを取り囲み、いいように利用しようとしている図である。周鴻恩らは孫の名義を利用して天津へ鉄を計

3950 トンを運び、東北幣 330 億元の暴利を得たが、この非合法的行為は公安局に発覚して停止させられた。ついに孫建国も犯罪者の仲間入りとなるわけだ。

この犯罪がバレた後、1950 年 10 月、孫建国は元の部隊に帰ろうとして関内(山海関から南)に向かうが、天津駅でかつて共に闇取引を行っていた悪徳商人の一人李孝直と出会ってしまった。李孝直はまた孫を利用して稼ごうとし、孫を伴って臨記洋行に行き、その副支配人を紹介して営業純利益の 40 パーセントを孫建国に与えたと述べた。新たな悪事の誘いである。

孫建国が部隊に戻ると、過去に仕事をともにした同僚が、軍事委員会後勤部の供応処副主任の職を紹介してくれた。悪徳商人たちは孫建国が広州で弁事処を組織するよ



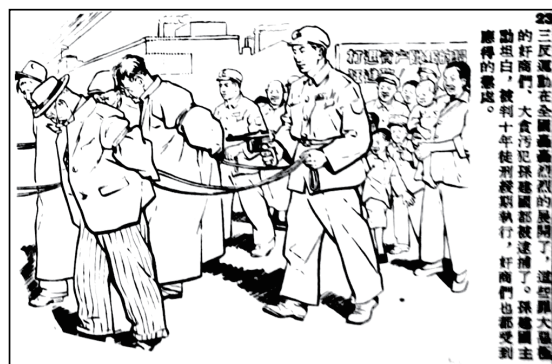
う派遣された事を知り大喜びであった。孫が上海の国際飯店に居た時に、何人もの悪徳商人が贈り物を持って群がってきたのである（右上図）。孫建国は悪徳商人の掘った陥穽にはまってしまった。ついには 20 数人の悪徳商人が供応処に潜入して幹部となり、資産階級の狂ったような進攻によって供応処はすっかり悪の巣窟になってしまったのである（右中図）。なんともまあ分かりやすい悪人たちの様子である。そろいもそろって煙草をくゆらせ、その煙は画面上部でつながり、彼らが一味であることを表している。手前の男は机に足をのせ、酒を飲んでいるようだ。人民のために服務すべき幹部としては、あまりに態度が悪すぎる。

彼らの不正の例を挙げれば、臨記洋行が後勤部のために 100 台の車、計 110 億元を購入したものの、期日を過ぎても納品せず、政府は 26 億元を騙し取られた。孫はこれにより手数料 1 億 5 千萬元を得たのである。

しかしうまい話は長くは続かない。三反運動が全国で嵐のように展開し、これらの大悪人の悪徳商人や、汚職犯の孫建国はみな逮捕された。孫建国は自白したために、執行猶予付きの 10 年の懲役となり、悪徳商人達もみな相応の罰を受けたのである（右下図）。

4 三反五反運動の実際

以上の連環画で主人公とされた董万里と孫建国は、三反五反運動において報道された実在の人物である。董万里は、1952 年 1 月 23 日の『東北日報』の記事「青年団員



反右派闘争や文化大革命がそうであったように、三反五反運動もまた冤罪の多い政治運動であった。共産党が設定した数値目標を達成するために、ありもしない罪に問われた人々が多くいたわけである。上海など華東地区では約 83%、東北地区でも 31% が冤罪として後に名誉回復された¹⁰。東北地区の冤罪が比較的少なかったのは、経済の先進地域として自ずから経済犯が多かったことであろうが、旧満洲国地域であり、思想的に腐敗した人間が多いとのレッテルが存在したと考えられる。ただ 31% としても相当に多い数字である。かくも多くの冤罪事件を生んだとすれば、三反五反運動を推進する共産党の工作隊は、ありもしない犯罪をでっちあげていたことになる。

数値目標を設定されたゆえに、虚偽の「自白」を強制された者が多かったことを考えると、孫建国の自白も真実だったのかは怪しくなってくる。少なくとも連環画に描かれた「腐敗分子」のイメージは、ステレオタイプな表現による誇張が相当にあると想定される。とくに悪徳商人たちが、皆あのように悪どい存在であったわけではないだろう。共産党イデオロギーの持つ民間企業や満洲国住民に対する偏見が、そこには働いているように思われる。

いずれにしても、当時連環画を読んだ大衆が、必ずしもこの内容をそのまま信じたとは限らない。むしろ政治運動によって攻撃対象となることに怯えていた大衆は、攻撃対象の選定がいかに杜撰なものであるかよく知っていたはずである。おそらく当時の大衆も、連環画を見ながらツッコミを入れていたのではないだろうか。

1 奥村哲『中国の現代史——戦争と社会主義』（青木書店、1999 年）、124～125 頁。

2 今野純「建国初期中国社会における政治動員と大衆運動——『三反』運動と上海社会（1951～52）」（『アジア研究』第 51 巻第 3 号、2005 年）。

3 『東北画報』第 95 期（1952 年 4 月 1 日）「資産階級陷害革命工作人員の惡毒手段」。

4 『東北画報』第 94 期（1952 年 3 月 1 日）「与貪汚犯、奸商堅決做闘争的青年團員——董万里」。

5 『東北画報』第 94 期（1952 年 3 月 1 日）「資産階級怎樣向革命進攻的？」。

6 『東北日報』1952 年 1 月 23 日「青年團員董万里不顧打擊引誘与貪汚犯進行堅決闘争」。

7 『東北日報』1952 年 1 月 24 日「党鼓舞我戰勝了資産階級的腐蝕」。

8 『人民日報』1952 年 1 月 30 日「資産階級有計畫地向革命陣營進攻的一例」。

9 『東北日報』1952 年 2 月 4 日「中央軍委後勤部代表楊恬対大貪汚犯孫建国的控訴」。

10 熊月之主編『上海通史』第 11 卷（上海人民出版社、1999 年）、62 頁。